

# 農林水産業高度化推進プロジェクトの推進と令和5年度の取組

## 現状と課題

### ① 先端技術の活用等による農業生産性革命の推進

#### 【現状】

- ・スマート農業の導入拡大により、生産現場等にデータが蓄積
- ・環境制御技術を活用したきゅうり等の長期多収どり栽培の実証
- ・県北地域向けの良食味米や新たな花色のりんどうなどの新品種の開発

#### 【課題】

- ・蓄積データを活用した更なる生産性向上
- ・低コスト環境制御技術の普及に向けた実証
- ・DNAマーカーを活用した新品種の早期開発



▲自動操舵雑穀播種

▲低コスト環境制御技術

▲りんどうの品種開発

### ② 豊富で多様な森林資源を活用した林業の成長産業化の推進

#### 【現状】

- ・森林クラウドシステムの整備に向けた各種データの整理
- ・紫波町等での木質バイオマスを活用した地域熱供給の実現

#### 【課題】

- ・森林クラウドの早期運用と効果的な活用
- ・地域内エコシステムの導入に取り組む市町村への支援



▲地域内エコシステムイメージ

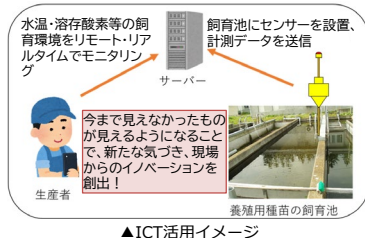
### ③ 生産技術の高度化や水産資源の造成等による攻めの地域漁業の推進

#### 【現状】

- ・養殖用種苗の生産環境（水温、酸素濃度等）のリモートモニタリングなどを実施
- ・海洋環境の変化に適応できるサケ稚魚の生産

#### 【課題】

- ・ICTを活用した生産技術への理解浸透
- ・高水温耐性を持つサケ稚魚の生産技術の開発



▲ICT活用イメージ

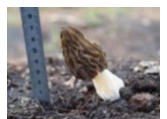
### ④ 個性が輝く地域資源を活用した農山漁村の活性化

#### 【現状】

- ・パイプハウス栽培試験で、アミガサタケの子実体発生を確認

#### 【課題】

- ・安定的な生産に向けた栽培技術の早期開発



▲アミガサタケの栽培試験

## 今後の展開

### ① 農業生産性革命の推進

- データ駆動型農業の実装 ⇒ データ駆動型農業の実証研究
- 環境制御技術の実証研究 ⇒ 低コスト環境制御技術の現地実証
- 新品種の開発 ⇒ 高温登熟耐性を有する水稻等の新品種開発

### ② 林業の成長産業化の推進

- ICT等の導入の促進 ⇒ 森林クラウドの本格運用と効果的な活用
- 地域内エコシステムの導入促進 ⇒ 地域協議会等の活動を通じた導入支援

### ③ 攻めの地域漁業の推進

- ICT等の導入の促進 ⇒ ICTを活用した生産技術等に関する研修会等の開催
- 高度なつくり育てる漁業の推進 ⇒ 高水温耐性を持つ稚魚の生産に関する研究 漁場等の効率的な活用に関する技術の開発・普及

### ④ 農山漁村の活性化

- 地域資源を活用した商品開発 ⇒ 商品開発の支援
- 新品目の栽培実証 ⇒ 有望菌種の収集・選抜・栽培試験の継続

## 令和5年度の具体的な取組

### ① 農業生産性革命の推進

- 多様なデータに基づく栽培技術・経営の最適化に向けた実証研究
- 新**（データ駆動型農業推進事業費 10 百万円[政プロ費]）
- DNAマーカーを活用した地球温暖化等に適應する新品種の開発
- 新**（地球温暖化適応品種開発プロジェクト事業費 15 百万円）

### ② 林業の成長産業化の推進

- システムの本格運用とICTリテラシー向上によるデジタル人材の育成
- （森林クラウドシステム整備事業費 39 百万円）

### ③ 攻めの地域漁業の推進

- 海藻養殖の増産に向けた技術の開発とウニの安定出荷に向けた取組の実施
- 新**（漁場等生産力発揮対策事業費 5 百万円[政プロ費]）

### ④ 農山漁村の活性化

- 地域資源を活用した高度な加工技術等による商品開発
- （いわて地域ぐるみ6次産業化支援事業費 3 百万円）

## 1 (農業) 先端技術を活用し、生産性・収益性の向上に向けた取組を推進

- 自動操舵農機の導入により、農業生産の効率化が加速  
(県内導入数 H30:141台→R3:438台⇒約3倍)
- 施設園芸への環境制御技術の導入により、収量が大幅に増加(きゅうり:慣行 約6t/10a→ 約9t/10a⇒約1.5倍)
- DNAマーカー選抜技術の活用により、鉢花向け青色八重咲りんどう品種を開発 (令和4年9月から出荷開始)
- 生物工学研究センターが開発したヒエヌカオイルを活用し、県内等の企業2社がスキンケア製品を共同開発 (令和3年12月から店頭などで販売)



▲自動操舵農機



▲鉢花向け青色八重咲りんどう品種



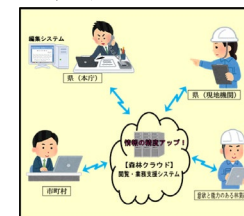
▲ 複合環境制御施設



▲ ヒエヌカオイルを使用したスキンケア製品

## 2 (林業) ICT等先端技術を活用し、成長産業化に向けた取組を推進

- 「森林クラウドシステム」の整備により、森林データの一元管理が実現 (令和5年4月から運用開始予定)
- 高性能林業機械の導入により、林業生産の効率化が加速 (県内導入数 H28:273台→R2:387台⇒約1.4倍)

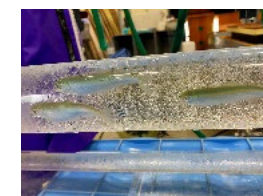


▲ 森林クラウドのイメージ ▲ 高性能林業機械 (プロセッサ)



## 3 (水産業) 生産技術の高度化等により、海洋環境の変化への対応を推進

- 大型で遊泳力の高い強靱なサケ稚魚の生産技術を開発 (令和4年度から本格的に生産開始)
- 漁港内の静穏域等を活用し、ウニの二期作による出荷を実現 (R2~R4:6漁協が出荷)



▲ スタミナトンネルによるサケ稚魚の遊泳力測定



▲ ウニの蓄養